

台風第7号による防災情報(第1報)

新庄河川事務所では、8月17日(水)9時00分、角川流域および銅山川流域の雨量観測所において、降り始めからの連続雨量が80mmを超えたため、災害対策支部(注意体制・砂防)を設置しました。

今後、天候の状況を見て角川流域、銅山川流域の砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

1. 新庄河川事務所の体制

8月17日(水)9時00分 災害対策支部(注意体制・砂防)設置

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害のおそれがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害のおそれがある場合

時間雨量40mmに達し土砂災害のおそれがある場合

2. 雨量情報(「8月17日(水)9時00分現在)

[角川流域] 明戸雨量観測所 連続雨量 90mm
平根雨量観測所 連続雨量 80mm

[銅山川流域] 豊牧雨量観測所 連続雨量 96mm
肘折(気)雨量観測所 連続雨量 81mm
木遠田雨量観測所 連続雨量 80mm
肘折ダム雨量観測所 連続雨量 85mm

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262 (調査課直通)

副所長(砂防) しぎはら よしたか
嶋原 吉隆 (内線205)

調査課長 くぼた としかず
窪田 敏一 (内線351)